

【HP掲載用】

化学放射線療法を受ける食道がん患者のQOL向上と 治療の完遂を目指した後ろ向き研究

【はじめに】 化学放射線療法を受ける食道がん患者さんの治療成績は向上しており、ますます普及することが予測されます。しかし、治療の副作用によるQOLの低下や治療の未完遂が懸念されています。後ろ向き研究により、化学放射線療法を受けた食道がん患者の過去のカルテから治療中断の要因を明らかにして、放射線療法を受ける食道がん患者のQOL向上および治療完遂を目指した看護支援の基礎データを得ることが目的です。

【対象】 九州大学病院放射線科で、平成20年2月1日から平成28年2月29日までに、九州大学病院放射線科を受診した患者さん（目標50例）が対象です。

【研究内容】 過去に実施された食道がん患者さんに対する化学放射線療法の治療中断の要因を明らかにし、治療完遂を目指した看護支援の基礎データを得たいと考えています。カルテから化学放射線療法を受けた食道がん患者さんの臨床データ〔（白血球（好中球）、ヘモグロビン、血小板、アルブミン、尿素窒素、クレアチニン、C反応性タンパク）、治療による副作用の程度〕、患者さんの訴えを収集し分析します。この研究を行うことで対象者に余分な負担が生じることはありません。

【研究期間】 研究を行う期間は、承認日より平成28年12月31日までです。

【個人情報の管理について】 個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究結果の公表の際には、個人を特定できる情報は一切含まれません。なお、研究についての資料を希望される方は下記の連絡先にお問い合わせください。

【医学上の貢献】 本研究により被験者の方が直接受けることができる利益はありませんが、化学放射線療法を受ける食道がん患者のQOL向上に貢献できると考えます。

【データの二次利用について】 本研究において得られたデータ等を、別の研究に二次利用する場合は改めてその研究計画を倫理委員会で審査し承認を得た上で使用します。取得した診療情報、回収したアンケートやインタビューの資料は鍵付きのロッカーに保管し、個人情報管理責任者は、九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野 教授 藤田君支で保存期間は平成42年12月31日までです。

【研究機関】

研究責任者	九州大学大学院 医学研究院 保健学部門 教授	藤田 君支
研究分担者	九州大学大学院 医学研究院 臨床放射線科学分野 教授	本田 浩
	九州大学大学院 医学研究院 保健学部門 教授	平田 秀紀
	九州大学大学院 医学研究院 保健学部門 講師	木下 由美子
	九州大学病院 放射線部・光学医療診療部 副看護師長	音瀬 穂子
	九州大学病院 北棟8階1病棟 看護師長	山崎 雅代
	九州大学病院 北棟8階1病棟 副看護師長	森 朋子
	九州大学病院 総合外来 看護師長	小林より子

連絡先 九州大学大学院 医学研究院・保健学部門 木下 由美子
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1
TEL・FAX: 092-642-6717 E-mail: kino@med.kyushu-u.ac.jp